

鳥獣センター通信

鳥獣被害対策マイスター 新たに61名を認定！

県では、平成22年度から鳥獣被害対策マイスター認定研修を開催しており、今年度も9月から11月の間にかけて開催しました。

これは、県内各地域で鳥獣被害対策を効果的に実施するため、受講生に野生鳥獣の生態や正しい被害防止対策に関する知識を身につけてもらうため、座学と現地実習のすべての研修を受講して、最終試験に合格された方を、鳥獣被害対策マイスターとして認定するものです。

新マイスターの方々には、座学研修でマイスターの役割や鳥獣被害対策の基礎知識、各種害獣の行動特性と対策等について学習してもらいました。

また、現地実習では、野生鳥獣追いつめ、網の設置技術等を習得してもらいました。さらに、集落環境点検では、実際に集落の現場を点検し、その結果を班に分かれて協議した後、診断結果を発表してもらった等、地域での普及啓発活動に役立つ技術を身につけてもらいました。



室内研修の様子



ネット柵設置実習の様子



集落環境点検の様子

野生動物を里のイサで冬越しさせない！

寒さも一段と厳しくなってきました。私たち人間も、冬の寒さはつらいものですが、野生動物たちにとっては、冬越しできるかが、生死をわけます。奥山では食物が減ってきているため、イサの豊富な集落が狙われています。

この時期こそ、野生動物にイサを与えないように、被害を受けないように、ほ場管理等の工夫や努力が必要です。

◆注意点◆

- ① 水田のひこばえや雑草は、食べられないようにすきこんでしまおうか、防護柵を継続して設置しましょう。
- ② 畑や家の近くに野菜等の残渣や残飯を放置しないようにしましょう（人間にとってはゴミでも動物にとってはおいしいイサとなります）
- ③ 集落等で野生動物を見かけたら、器具等を活用し協力して追い払うようにしましょう。

被害対策に関する問合せ
西臼杵支庁及び各農林振興局
各市町村・各農協・各森林組合 等

☆鳥獣被害対策地域特命チームだより☆

北諸県地域

北諸県地域では、飼料作物、露地野菜を中心にシカ、イノシシ、サルの鳥獣被害を受けています。特に都城市高城地区では、30年ほど前からサルによる被害に悩まされてきました。その対策として、都城市では農産園芸課に野生猿被害防止監視員を配置し、農作物の被害軽減を図っています。

今回はサル被害対策を中心に高城地区で活発に活動されている野生猿被害防止監視員の活動を紹介します。

活動の主な内容は地域住民からの目撃情報や被害通報への対応、住民への被害対策啓発、農作物残さの発見、除去指導、農作物被害状況や生息調査等、多岐にわたります。

地域で行う被害対策研修会でも積極的に参加者に声をかけ、防護柵設置のコツや被害対策について指導を行っています。



①監視員さん考案・作成の花火発射装置を使って追い払い指導

最近ではサル以外の被害相談も多く、様々な情報を収集し、集落の皆さんの相談相手になっています。

また、集落の声を地域特命チームへ届ける役目も果たしており、今年度は監視員さんからの情報をもとに都城市で3カ所の実証展示（猿落くんモデル設置）を設置しました。そのうち、2カ所では地域の人も声をかけ、鳥獣被害対策研修会を開催しました。

監視員さんは「状況が日々同じではなく、変化があるのがおもしろい。追い払い等作戦が思い通りうまくいったときや電柵の張り方や環境整備の指導をして地域に改善がみられた時等、やりがいを感じます」と話されており、これからも地域に密着した活動で鳥獣被害対策の要として活躍されることを期待します。



②都城市鳥獣被害防止監視員の松下さん 和田さん 東野さん

東臼杵南部地域

平成26年度からモデル集落として活動している門川町三ヶ瀬地区の取り組みについて紹介します。

集落の現状

門川町三ヶ瀬地区は、山間部に位置し、赤木、市の原、大原一及び二、阿仙原の5つの班から構成されており、水稲、椎茸、杉生産のほか、栗、ナス、カボチャ等が作付けされています。

しかし、近年では、イノシシ、シカによる水稲被害や、椎茸のサルによる加害が増え、生産意欲の減退が問題となっていました。

そこで、平成25年度から26年度にかけて、侵入防止対策として、ワイヤーメッシュ柵を設置しています。また、椎茸でも、モデル展示圃として、電気柵を設置し実証効果を確認、被害軽減を図っています。

集落活動推進に向けた体制作り

三ヶ瀬地区は、広域的に被害があり、戸数も100戸と非常に多いため、鳥獣被害対策を効率的に進めるためには、推進リーダーの育成と関係機関団体で構成する外回りリーダー会一体となった活動醸成が必要だったことから、6月20日に合同会議を開催し、集落ぐるみの勉強会や集落点検活動等、集落対策の推進について、合意を図りました。

集落勉強会の開催

合同会議を受けて、7月25日に、地区住民30数名を募集し、以下の内容で勉強会を開催しました。

- ①イノシシ対策用電気柵設置
- ②サル追い払い用花火鉄砲実演
- ③侵入防止柵の管理

勉強会では、被害軽減を図るための、正しい知識の普及と集落の環境改善の徹底を呼びかけました。

今後は、推進リーダーのみなさんや、住民との情報共有を強化しつつ、集落点検活動等により改善対策に取り組んでいくこととしています。



リーダーによる推進会議の様子